

防災安全部

(1) 防災安全部予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景・課題

- 2018年度は6月に発生した大阪府北部地震をはじめ、9月には北海道胆振東部地震が発生し、全国的に大きな被害が報告されました。また、風水害については平成30年7月豪雨が発生し、過去最大の降雨量を記録した被災自治体がありました。町田市においても、台風第24号の際には強風による倒木や、約13,000軒に及ぶ停電等が報告されました。こうした状況の中、防災に対する市民からの関心は年々高まっており、市として一層の防災・災害対策が求められています。
- 2018年度に多摩市と共同で実施した避難施設別の避難者数推計結果や、各対策部で実施した震災図上訓練の検証結果を、町田市地域防災計画の修正ポイントの一つとして活用していきます。また、国や都の動向を注視し、町田市地域防災計画との整合性を図る必要があります。
- 2013年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、地域防災を担う消防団、自主防災組織に大きな期待が寄せられています。こうした状況の中、市は地域防災力の中核を担う消防団の装備強化、組織力の充実を図るとともに、自主防災組織のリーダー育成支援を行い、地域における防災体制を引き続き強化していく必要があります。
- 警察の発表によると、町田市における特殊詐欺被害件数は、2018年には152件で、2017年と比べて32件増加、過去3年間増加傾向が続いており、被害防止が求められています。また、犯罪の抑止と体感治安の改善については、市民の関心が高いこともあり、地域団体や警察との連携による、より一層の地域の防犯対策の強化が求められています。
- 町田市における交通事故件数は、2018年には851件となり、2017年と比べて96件減少し、2000年の3,254件をピークに減少を続けています。交通死亡事故も3件で、2017年から5件減少しました。市民が、交通事故の加害者や被害者となることが無くなることを目指して、交通ルールやマナーの遵守等、交通安全意識の一層の普及に努める必要があります。

◆予算編成の考え方

- 「町田市5ヵ年計画17-21」基本政策「安全に生活できるまちをつくる」に基づくもの
 - (1) 自主防災リーダーのフォローアップ講習会を実施し、地域の自主的な防災活動の更なる充実を図ります。
 - (2) 市民生活の安全を守るとともに迷惑行為の防止を図るため、協働パトロール等の防犯対策を推進します。
- その他個別計画等に基づくもの
 - (1) 災害に強いまちづくりを推進するため、防災行政無線や消防施設の整備を行います。なお、老朽化が進んでいる消防施設や消防車両については、建替えや更新を行います。
 - (2) 国が策定を推奨しているエリア防災計画について、町田駅周辺の計画を策定し、災害時における帰宅困難者対策を推進します。
 - (3) 安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯カメラ設置に対する補助や民間交番を運営します。
 - (4) 市民の交通安全意識の高揚と交通事故の減少を図るため、警察等と協力し、自転車教室をはじめとする各種交通安全教室や、街頭や地域イベント等にて交通安全意識普及活動を実施します。

◆予算編成で重視した取組

1 町田市5ヵ年計画17-21 重点事業

- (1)「地域の防災リーダーの育成」のために、自主防災組織リーダーフォローアップ講習会を実施します。(災害対策費 防災課 173ページ)
- (2)「防犯対策の推進」のために、協働パトロール事業を推進します。(安全対策費 市民生活安全課 170ページ)

2 町田市地域防災計画の修正

2018年度に実施した避難施設別の避難者数推計結果や都の計画、各対策部で実施した震災図上訓練の検証結果を元に、町田市地域防災計画を修正します。
(災害対策費 防災課 173ページ)

3 消防団の装備強化への対応

- (1) 消防器具置場(3分団10部)新設及び解体工事を行います。
(消防施設費 防災課 172ページ)
- (2) 消防車両の更新分として、消防ポンプ車を2台購入します。
(消防施設費 防災課 172ページ)

4 帰宅困難者対策の推進

町田駅周辺のエリア防災計画を新たに策定します。
(災害対策費 防災課 173ページ)

5 地域における防犯カメラ等の設置支援

町内会・自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部補助を行います。
(安全対策費 市民生活安全課 170ページ)

6 民間交番の運営

付近の見守りや緊急時の通報などに加え、まちづくりの拠点として周辺施設等への道案内や観光案内等を行います。
(安全対策費 市民生活安全課 170ページ)

(2) 2019年度 防災安全部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	目	2019年度	2018年度	比較	事業名
2	総務費					
	1	総務管理費				
		19 安全対策費	42,338	40,519	1,819	安全対策費
3	民生費					
	5	災害救助費				
		1 災害救助費	180	180	0	災害救助費
9	消防費					
	1	消防費				
		1 防災対策費	4,960,461	4,831,569	128,892	消防団運営費 消防施設費 災害対策費 常備消防費
合 計			5,002,979	4,872,268	130,711	

※職員人件費、嘱託・臨時職員人件費は除いています。

防災安全部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	5,002,979	0	1,415,674	349,000	151	3,238,154
2018年度	4,872,268	0	1,472,872	225,000	6,934	3,167,462
比 較	130,711	0	△ 57,198	124,000	△ 6,783	70,692

(3) 事業別支出科目一覧

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
2	1	19	安全対策費		42,338
			02 安全対策費	市民生活安全課	42,338
			交通安全推進協議会委員報酬		357
			委員謝礼		323
			講師謝礼		50
			普通旅費		34
			消耗品費		2,239
			印刷製本費		197
			施設修繕料		1
			事業・業務委託料		12,884
			研修・講座等委託料		2,655
			収集・処分等委託料		1
			町田市交通安全協会補助金		6,851
			特別会員交通災害共済費負担金		109
			防犯協会補助金		887
			防犯設備整備費補助金		15,750
3	5	1	災害救助費		180
			01 災害救助費	防災課	180
			罹災者見舞金		180
9	1	1	防災対策費		4,960,461
			02 消防団運営費	防災課	130,320
			団員報酬		65,147
			事業協力謝礼		6,364
			費用弁償		9,095
			交際費		170
			消耗品費		21,152
			食糧費		30
			印刷製本費		115
			証明手数料		3
			警備委託料		30
			収集・処分等委託料		365
			設営委託料		1,322
			健康診査等委託料		99
			自動車借上料		240
			有料道路通行料		10
			研修負担金		11
			協議会等負担金		566
			特別会員交通災害共済費負担金		210
			消防団員福祉共済負担金		1,800
			消防団研修負担金		646
			消防団交付金		5,992
			損害補償・退職報償負担金		16,953
			03 消防施設費	防災課	275,580
			消耗品費		1,260
			燃料費		765
			光熱水費		3,599
			施設修繕料		2,022
			備品修繕料		5,124

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			リサイクル手数料		26
			自動車保険料		847
			事業・業務委託料		385
			機器等保守点検委託料		27
			工事監理委託料		2,174
			不動産鑑定・評価委託料		1,061
			収集・処分等委託料		9
			剪定・除草委託料		2,044
			用地借上料		2,121
			自動体外式除細動器借上料		515
			整備工事費		76,800
			撤去工事費		4,300
			備品等購入費		2,389
			車両購入費		36,000
			研修負担金		75
			消火栓維持管理負担金		5,781
			消火栓設置負担金		127,133
			廃棄物処分負担金		18
			自動車重量税		1,105
			04 災害対策費	防災課	302,054
			防災会議委員報酬		484
			事業協力謝礼		898
			普通旅費		215
			特別旅費		42
			消耗品費		3,058
			災害時用備蓄資材・食糧等購入費		56,097
			燃料費		173
			印刷製本費		1,982
			光熱水費		1,438
			施設修繕料		201
			備品修繕料		3,328
			賄材料費		14
			電話料		3,835
			インターネット通信費		231
			専用回線等通信費		2,225
			自動車保険料		144
			傷害保険料		42
			事業・業務委託料		10,534
			事務処理等委託料		178
			計画策定委託料		7,122
			研修・講座等委託料		1,180
			指導委託料		1,914
			機器等保守点検委託料		13,944
			工事監理委託料		7,700
			警備委託料		59
			作成委託料		23,595
			設営委託料		3,344
			検査委託料		5,528
			整備工事費		126,600
			設置工事費		8,040

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			備品等購入費		1,664
			研修負担金		100
			自主防災組織補助金		15,545
			町田防火防災協会補助金		200
			防災行政無線電波利用負担金		291
			自動車重量税		109
			05 常備消防費	防災課	4,252,507
			常備消防都委託料		4,252,507

(4) 事業の説明

一般会計

	款 2	項 1	目 19	安全対策費		
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	42,338	0	9,566	0	0	32,772
2018年度	40,519	0	8,590	0	2,159	29,770

2 安全対策費

42,338 千円

担当 市民生活安全課

予算書 82 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	9,566	0	0	32,772

○事業の内容

- ・市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、官民協働パトロール等による啓発活動や、地域防犯活動の支援等を行います。
- ・交通事故防止に向けて、市民への交通安全教育や交通安全啓発活動等を行います。

○2019年度の取り組み

- ・町内会・自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部補助を行います。
- ・2019年末で期限を迎える町田市安全安心まちづくり推進計画を改定します。
- ・防犯拠点機能にまちづくり拠点としての機能を加えた、民間交番を運営します。
- ・交通ルールやマナーの普及を目指して、対象者に合わせた各種交通安全教室を行います。
- ・市民団体や事業者等と連携して、交通安全意識普及活動を実施します。

主な事業費	防犯設備整備費補助金(防犯カメラ設置補助金)	15,750千円
	事業・業務委託料(民間交番運営委託料)	12,884千円
	研修・講座等委託料	2,655千円
	(中学生交通安全講習	1,925千円)
	(高齢者等交通安全講習	730千円)



防犯設備整備費補助



中学生交通安全講習会

特定財源	防犯設備整備費補助金(都 7/12)	9,566千円
------	--------------------	---------

一般会計

		款 3	項 5	目 1	災害救助費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	180	0	0	0	0	180
2018年度	180	0	0	0	0	180

1 災害救助費

180 千円

担当 防災課

予算書

110 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	0	0	0	180

○事業の内容

災害により被害を受けた町田市に住所を有する被災者又はその遺族に対して、見舞金または弔慰金をおくります。

○2019年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

事業費 罹災者見舞金 180千円

<見舞金支給状況>

	住宅全焼	住宅半焼	床上浸水	弔慰金
2015年度	3件	4件	0件	3件
2016年度	3件	1件	0件	0件
2017年度	2件	3件	1件	1件

関連事業 災害救助費(地域福祉部福祉総務課、261ページ参照)

一般会計

		款 9	項 1	目 1	防災対策費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	4,960,461	0	1,406,108	349,000	151	3,205,202
2018年度	4,831,569	0	1,464,282	225,000	4,775	3,137,512

2 消防団運営費

130,320 千円

担当 防災課

予算書

139 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	21,108	0	151	109,061

○事業の内容

・市民の生命、身体及び財産を守ることを使命として活動している町田市消防団の活動を支えるため、報酬支払や費用弁償、及び被服貸与を行うことで消防団活動の充実を図ります。
 ・町田市消防団ポンプ操法大会や出初式等の行事について事務局として携わり、消防団活動の充実を図ります。

○2019年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

主な事業費

団員報酬

65,147 千円

消耗品費

21,152 千円

損害補償・退職報償負担金

16,953 千円

主な特定財源

市町村総合交付金(都)

19,262 千円

消防団用防火衣整備費補助金(都1/2)

1,846 千円

<町田市消防団の概要(2018年12月1日現在)>

組織	5分団36個部	団員数	581人
----	---------	-----	------



町田市消防団出初式

3 消防施設費

275,580 千円

担当 防災課

予算書

139 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	0	215,000	0	60,580

○事業の内容

町田市消防団の消防器具置場や消防車両を維持管理するとともに、消防水利(消火栓・防火水槽)を適正に維持管理することにより、消防活動の充実を図ります。

○2019年度の取り組み

・防火貯水槽等の消防水利、消防団の消防器具置場や消防車両の維持管理を行います。また、消防器具置場第3分団第10部の新築及び解体工事を予定しています。
 ・消火栓の移設や新設、維持補修を行います。
 ・消防ポンプ車両2台の更新を行います。

主な事業費

消火栓設置負担金

127,133 千円

整備工事費(第3分団第10部新築・解体)

76,800 千円

車両購入費(消防車両)

36,000 千円

特定財源

消防施設整備事業債

215,000 千円



消防ポンプ車両

4 災害対策費

302,054 千円

担当 防災課

予算書 139 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	134,000	0	168,054

○事業の内容

- ・防災行政無線や全国瞬時警報システム等の防災情報機器の運用・管理を行います。
- ・防災マップやハザードマップを作成・配布することで、災害時における避難経路や、市内における浸水被害の想定及び土砂災害の警戒区域について周知啓発を図ります。
- ・町田市地域防災計画等の見直しを行います。
- ・町田市総合防災訓練等の実施や、災害用備蓄品の更新を行います。
- ・地域防災活動をけん引できる人材育成を行うことにより、地域防災力向上に努めます。

○2019年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

主な事業費	整備工事費(防災行政無線再構築)	126,600 千円
	災害時用備蓄資材・食糧等購入費	56,097 千円
	作成委託料(ハザードマップ等作成事業)	23,595 千円
	自主防災組織補助金	15,545 千円

特定財源	消防施設整備事業債	134,000 千円
------	-----------	------------

防災行政無線
屋外拡声子局

5 常備消防費

4,252,507 千円

担当 防災課

予算書 140 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	1,385,000	0	0	2,867,507

○事業の内容

東京消防庁に消防事務(常備消防)を委託します。広域化による効率化や装備・施設の充実等による消防力の強化を目指し、現在は、都内の25市3町1村が消防事務(常備消防)を東京消防庁に委託しています。

○2019年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

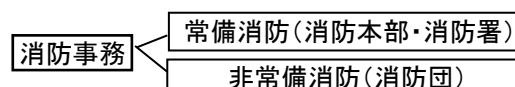
事業費	常備消防都委託料	4,252,507 千円
-----	----------	--------------

特定財源	市町村総合交付金(都)	1,385,000 千円
------	-------------	--------------

<東京消防庁町田消防署の概要>

町田消防署は、本町田にある本署と、忠生・南・鶴川・西町田・成瀬の5つの消防出張所からなっています。

また、町田消防署管内には、ポンプ車11台(化学車1台含む)、救急車7台、はしご車1台、救助工作車1台、指揮隊車1台等が配備されています。



※消防事務のうち常備消防(消防水利を除く)を委託

